

登録コード	TSY06600	開講年度	2026				
授業科目	建築心理学実験					担当教員	柳瀬 亮太
英文授業名	Architectural Psychology Experiment					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				【研究科共通】学際的知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				【専攻】学際的知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力		
(2)授業の概要	環境と人間の相互作用に関係する研究に取り組む。 研究にあたっては、テーマとする内容を明確にした上で問題や課題を報告し、それらについて定期的に議論する。						
(3)授業計画	1. 研究に取り組むにあたって生じる問題や課題について議論し、解決する。 2. 各々が取り組む研究を学術論文として結実するよう指導する。 前期 第 0 1 回 ガイダンス 第 0 2 回 ~ 第 1 1 回 取組みに関わる文献の渉猟と方略に関わる議論 第 1 2 回 ~ 第 1 5 回 取組み目標を達成する要件の確認 後期 第 0 1 回 ~ 第 0 6 回 取組みの進捗および問題などの確認および議論 第 0 7 回 ~ 第 1 4 回 実験および調査の結果・考察、まとめ方に関わる議論、論文内容の確認 第 1 5 回 論文の最終確認						
(4)成績評価の方法	議論・課題への取り組みの内容により総合的に評価します。基本的に90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。						
(5)成績評価の基準	研究論文の内容だけでなく、資料収集・問題提起・実験調査や議論に臨む準備および態度などを含めて、総合的に評価する。						
(6)事前事後学習の内容							
(7)履修上の注意	受講に先立って、建築心理学および演習を履修しておく必要があります。						
(8)質問,相談への対応	講義中もしくは前後の時間、時間外はTeamsにて受付ける。						
(9)その他							
【教科書】	必要に応じて随時用意します。						
【参考書】	指定しない						